

下阪本小学校 4 年生

防災授業の報告

実施日：令和5年10月12日（木） （1時限～4時限）

（まちづくり協議会・防災部会 取組）

目的

小学校4年生防災授業「防災倉庫を実際に見学して、防災を学ぶ」に参加し、防災倉庫の配備品、災害時の倉庫の役割、防災の重要性等を説明し、防災教育への支援の取組とする。

防災授業の内容

- ① 琵琶湖西岸断層帯地震を学び、この地震が起これば、最悪、震度7が予測されています。震度7では弱い家は倒壊しますし、また倒壊しなくとも家の中はタンスや冷蔵庫などが倒れ、大災害となります。
- ② 防災倉庫には、地震や災害で小学校体育館へ避難したときに必要な「非常食料、毛布、災害用トイレなど」が備蓄されています。その実物を見る。
- ③ 地震で水道水が出なくなるとトイレが使えなくなり大変困ります。実際に授業で災害用トイレを組み立て、災害用トイレの仕組みを学びます。簡単に災害トイレが準備できることから、各家庭でも災害に備え、非常食や災害用トイレを備えることが大切であることを学ぶ。

授業状況

